

■一般目標（GIO）

全部床義歯研磨までの全部床義歯技工学の理論および製作の技工術式を基に、全部床義歯を仕上げる。レジン填入から全部床義歯完成までの各工程について、さらに理論と技工操作の知識および技術の向上を目指し、安定した咬合関係の再現、発音および審美性の回復を図り、無歯顎患者の健康増進に寄与する全部床義歯の製作法を習得する。

■到達目標（SBOs）

- ・両側性平衡咬合の咬合様式について目的・意義を理解できる。
- ・上顎法で行う排列法の術式を習得できる。
- ・床用レジンのフラスコ内への填入操作と、その注意点を習得できる。
- ・床用レジン重合後の歪みを調整し、咬合の安定を図るとともに、運動時の両側性平衡咬合を得るための調整の原則と、その方法を習得できる。
- ・義歯床研磨の目的とその技工術式を理解できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：火曜日 18:50～21:15

■オフィスアワー：今井 秀行（imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp） 火曜日 17:00～17:45

■成績評価：実習製作物を評価（100%）し、フィードバックを行う。

■注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。

■授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。

■準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：必要な時間（1時間程度）を充てて予習を行うこと。

■実務経験：今井 秀行：歯科技工士としての臨床経験をもとに、他教科も含めた口腔内全体の機能と補綴装置の関わりを考慮した補綴装置の製作方法をわかりやすく丁寧に教えていく。

■実務経験：有床義歯技工学（全部床義歯技工学）（1年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回9月30日 今井 秀行 梅沢 岳司	1. 歯肉形成 1) 上顎唇、頬側部	・上顎唇頬側部、下顎唇頬側部、上顎口蓋側、下顎舌側部にワックスを追加し、上顎唇頬側の歯肉形成を行う。
第2回10月7日 今井 秀行 他	1. 歯肉形成 1) 上顎口蓋側部	・上顎口蓋側の歯肉形成が完成できる。
第3回10月14日 今井 秀行 他	1. 歯肉形成 2) 下顎唇、頬側部	・下顎唇頬側部の歯肉形成が完成できる。
第4回10月21日 今井 秀行 他	1. 歯肉形成 2) 下顎舌側部	・下顎舌側部の歯肉形成が完成できる。
第5回10月28日 今井 秀行 他	2. ろう義歯完成	・上下顎の歯肉形成の細部を点検し、ろう義歯を完成できる。 ・ろう義歯の歯肉形成の評価を受ける。
第6回11月4日 今井 秀行 他	3. ろう義歯の埋没（1）	・ろう義歯の埋没、流ろうおよび重合の目的および操作を理解することができる。 ・義歯床用レジンの種類、組成および取り扱いに

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 到 達 目 標
		ついて理解することができる。 ・ 重合方式の種類および注意点について理解することができる。 ・ アメリカ法によるフラスクへの埋没方法を修得することができる。
第7回 11月11日 今井 秀行 他	3. ろう義歯の埋没 (2)	・ ろう義歯の埋没, 流ろうおよび重合の目的および操作を理解することができる。 ・ 義歯床用レジンの種類, 組成および取り扱いについて理解することができる。 ・ 重合方式の種類および注意点について理解することができる。 ・ アメリカ法によるフラスクへの埋没方法を修得することができる。
第8回 11月18日 今井 秀行 他	4. 流ろう, 分離剤塗布	・ ろう義歯の埋没, 流ろうおよび重合の目的および操作を理解することができる。 ・ 義歯床用レジンの種類, 組成および取り扱いについて理解することができる。 ・ 重合方式の種類および注意点について理解することができる。 ・ アメリカ法によるフラスクへの埋没方法を修得することができる。
第9回 11月25日 今井 秀行 他	5. 床用レジン of 填入, 重合	・ フラスク内のワックスを除去するための流蠟器の使用法と注意点を習得できる。 ・ 床用レジン of フラスク内への填入操作と, その注意点を習得できる。 ・ 床用レジン of 加熱重合法の操作と注意点を習得できる。
第10回 12月2日 今井 秀行 他	6. フラスク開盆 7. 咬合器再装着 8. 咬合調整 (1) 1) 選択削合	・ 咬合器再装着の方法としてスプリットキャスト法を理解できる。 ・ 床用レジン重合後の歪みを調整し, 咬合 of 安定を図るとともに, 運動時の両側性平衡咬合を得るための調整 of 原則と, その方法を習得できる。
第11回 12月9日 今井 秀行 他	8. 咬合調整 (2) 1) 選択削合 2) 自動削合	・ 床用レジン重合後の歪みを調整し, 咬合 of 安定を図るとともに, 運動時の両側性平衡咬合を得るための調整 of 原則と, その方法を習得できる。
第12回 12月16日 今井 秀行 他	9. 研磨 (1)	・ 義歯床研磨 of 目的とその技工術式を理解できる。 ・ 義歯床 of 床縁, 表面, 粘膜面 of 研磨を理解できる。 ・ 荒研磨による義歯床辺縁形態 of 修正, 表面および内面 of 調整 of 術式を習得できる。
第13回 12月23日 今井 秀行 他	9. 研磨 (2)	・ 義歯床研磨 of 目的とその技工術式を理解できる。 ・ 義歯床 of 床縁, 表面, 粘膜面 of 研磨を理解できる。 ・ 荒研磨による義歯床辺縁形態 of 修正, 表面および内面 of 調整 of 術式を習得できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第14回 1月13日 今井 秀行 他	9. 研磨 (3)	・義歯床研磨の目的とその技工術式を理解できる。 ・義歯床の床縁、表面、粘膜面の研磨を理解できる。 ・荒研磨による義歯床辺縁形態の修正、表面および内面の調整の術式を習得できる。
第15回 1月20日 今井 秀行 他	9. 研磨 (4) 10. 完成 11. 作業用模型製作 (咬合床用)	・義歯床研磨の目的とその技工術式を理解できる。 ・義歯床の床縁、表面、粘膜面の研磨を理解できる。 ・荒研磨による義歯床辺縁形態の修正、表面および内面の調整の術式を習得できる。